

# 乳幼児の椅子からの転落事故を防ぐために、 椅子の上に立たせない工夫をしましょう！

～乳幼児の身の回りにおける椅子の安全性に関する調査を実施しました～

椅子は日常生活に欠かせない身近な製品です。しかし、東京消防庁によると、椅子からの乳幼児の転落事故などが発生しています。そこで、乳幼児の身の回りにおける一人がけの椅子による事故を未然に防止する観点から消費者アンケートと、安全性に関する試験、検証を実施しました。



その結果を基に、消費者へのアドバイスや事業者団体への要望等を行います。

## 【調査方法】

- ・消費者アンケートは、都内及び近県に在住している5歳以下の乳幼児の保護者3,000人を対象にインターネットで調査
- ・安全性に関する試験等は、1歳児を想定したダミー人形を椅子の上に乗せた状態での傾斜、引く力に対する安定性の確認及び頭部への損傷可能性の検証を実施

## 「アンケート調査結果」

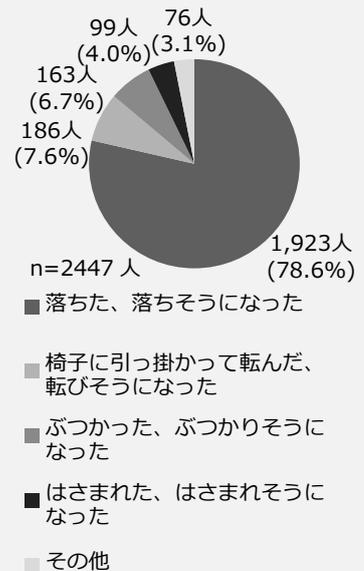
### 1. 危害、ヒヤリ・ハット経験の有無、内容

椅子の転倒等による危害等（危害及びヒヤリ・ハット）経験が「ある」と回答したのは81.6%（2,447人）であった。「ある」と回答した人を対象として最も危害等の程度が高い経験の内容を調査したところ、「落ちた、落ちそうになった」との回答が78.6%（1,923人）であった（右図）。年齢別には1歳児が38.3%（937人）と最も多かった。【報告書 P.7-10】

### 2. 危害等の事例

「落ちた、落ちそうになった」事例の中では椅子の上に入ったことに関係するものが最も多く30.6%（589人）であった。「ベルトを嫌がる時期で固定していなかった」など、ベルトを着けていなかった事例や、「椅子についているベルトをすり抜けて立っていた」など、着けていたにもかかわらずすり抜ける事例もあった。【報告書 P.13-18】

椅子による危害等経験内容



## 「安全性に関する試験等結果」

### 1. 椅子の安定性

ダミー人形を乗せた椅子を傾けたり、引くことで安定性を確認したところ、ほとんどの場合で立っているときのほうが座っているときよりも、より小さい傾斜角、力でダミー人形が転落した。また、頭部から床に転落するケースもみられた。【報告書 P.20-24】

### 2. 頭部損傷の可能性

椅子から転落した際に頭部が受ける衝撃について検証したところ、立っているときのほうが座っているときよりも、より重いけがとなり、フローリングの上にクッションマットを敷いていても頭部骨折などに至る可能性があることがわかりました。【報告書 P.25-28】



注意喚起動画

【裏面へ続く】

詳しくはこちらをご覧ください。

東京暮らしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>



【問合せ先】

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

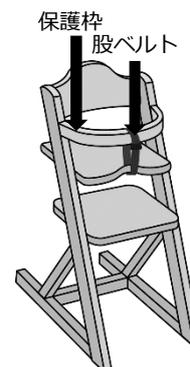
電話 03-5388-3082

## ◆消費者へのアドバイス

乳幼児の椅子からの転落は、重いけがとなる可能性があります。  
また、乳幼児が椅子の上に立つことで危険性が高まります。

### ●乳幼児の転落を防止するためのベルト等を適切に使用しましょう

- ・乳幼児用の椅子には、転落を防止するため、ベルトや保護枠などが付いているものがあります。5点式ベルトや、身体との隙間が少ないものなど、できるだけ乳幼児が抜け出しづらい構造のものを選びましょう。
- ・正しく使用していないと、乳幼児が抜け出すなどの可能性が高まりますので、取扱説明書などで使用方法を確認しましょう。  
また、椅子の上に立ち上がらないように気をつけましょう。



### ●後付けできるベルトの使用を検討しましょう

外出先などで、ベルト等が付いていない椅子に後付けができるベルトもありますので、用途や状況にあわせて使用を検討しましょう。

### ●椅子を使わないときは、乳幼児が触れないところへ片づけましょう

折りたたみ椅子など、乳幼児用ではない椅子による事故も発生していますので、使わないときには片付けるようにしましょう。

### ●安全基準を満たした椅子を使用しましょう

ハイチェア、ローチェアやテーブル取付け椅子には、傾けたり、引っ張ったりした際の安定性などを定めた任意の安全基準である SG 基準があります。安全や信頼性が確認された製品には SG マークが表示されますので、商品を購入する際は、参考にしましょう。

<SGマーク>



## ◆要望・情報提供

製造事業者団体、国等に対し、さらに安全な製品開発の検討、普及等の取組を推進するため、要望・情報提供を行います。

報告書はホームページからダウンロードできます。

